

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

研究課題名:『ラムシルマブ+ナブパクリタキセル療法における骨髄抑制発現危険因子の探索』

研究機関名: 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者: 薬剤部

職位・氏名: 主任 柳野紗智子

### 【研究の目的】

東邦大学医療センター大森病院薬剤部では、ラムシルマブ+ナブパクリタキセル療法治療における骨髄抑制の危険因子を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

ラムシルマブ+ナブパクリタキセル療法は胃癌ガイドラインにおいて推奨されるレジメンの一つです。副作用として好中球減少などの骨髄抑制が問題となることが多くありますが、発現する危険因子については十分に検討されていません。

骨髄抑制の危険因子を明らかにすることで治療を継続する上での有用な情報につながります。

### 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者: 2015年7月～2022年3月までに東邦大学医療センター大森病院において、胃癌と診断され、ラムシルマブ+ナブパクリタキセル療法を実施された方を対象とします。

方法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

### 【研究に用いられる試料・情報】

診療録、治療歴、処方薬剤、血液検査、尿検査の結果、副作用等の発生状況など

### 【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

### 【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 薬剤部

職位・氏名 主任 柳野紗智子

電話 03-3762-4151 内線 3487